

## 本書の効果的な活用法

看護師国試に合格するには必修問題の8割を正解する必要があります。本書では出題傾向を徹底分析。頻出内容はもちろん、今後出題される可能性のある内容も網羅しています。確実に得点できるようにファイナルチェックしよう！

設問のテーマが一目瞭然

全問が「R5年版看護師国家試験出題基準」に準拠

厳選した360問を  
1～3ROUNDに分けて  
収載しています。  
繰り返しチェックして  
合格しよう！

ROUND 1

問題 1

年齢別人口

◎目標1 ◎大項目-1 ◎中項目-B

日本の令和5年(2023年)における総人口に占める生産年齢人口の割合に最も近いのはどれか。

1. 11%
2. 29%
3. 59%
4. 87%

問題 2

世帯

令和4年(2022年)の国民生活世帯の占める割合に最も近いのはどれか。

1. 7%
2. 20%
3. 32%
4. 50%

問題 3

平均寿命

平均寿命とは( )歳の平均( )に入るのどれか。

1. 0
2. 20
3. 40

正解できたらチェックボックスにチェックマークを付けます。チェックマークの付かなかったものはもう一度見直しましょう。

2. 約80万人
3. 約157万人
4. 約167万人

2

左ページに問題、右ページに解答・解説の見開きで見やすい構成。

解説 1

▶正答 3

1. × 生産年齢人口とは、人口統計において、生産活動の中心となる15～64歳の人口を意味し、生産年齢人口以外(従属人口)に分類される。生産年齢人口には就業の有無や意思は反映されない。2023(令和5)年の生産年齢人口の総人口に占める割合は、59.5%である。年少人口(15歳未満人口)が11.4%、老年人口(65歳以上人口)が29.1%となっている。

解説 2

▶正答 3

1. × 2022(令和4)年国民生活世帯の数は2,747万4千世帯(全世帯の32.1%)である。2. × 2022(令和4)年国民生活世帯の数は2,747万4千世帯(全世帯の32.1%)である。3. ○ 2022(令和4)年国民生活世帯の数は2,747万4千世帯(全世帯の32.1%)である。4. × 2022(令和4)年国民生活世帯の数は2,747万4千世帯(全世帯の32.1%)である。

選択肢ごとに○×の根拠を示し、わかりやすく簡潔に解説。きちんと読んで、学習事項の再確認をしましょう。

解説 3

▶正答 1

1. ○ 厚生労働省が公表している簡易生命表は、日本にいる日本人について、前年1年間の死亡状況が今後変化しないと仮定したときに、各年齢の人が1年以内に死亡する確率や、平均してあと何年生きられるかという期待値などを、死亡率や平均余命などの指標によって表したものである。ここで示される0歳の平均余命が平均寿命にあたり、すべての年齢の平均余命の平均値である。2. × 2022(令和4)年の男性の平均寿命は80.8歳である。3. × 2022(令和4)年の女性の平均寿命は85.8歳である。4. × 2022(令和4)年の平均寿命は83.3歳である。

重要用語を赤で表記。ポイントをおさえて知識の確実な定着を！

解説 4

▶正答 3

1. × 2023(令和5)年の死亡数は157万5,936人で、前年の156万9,050人より6,886人増加し、死亡率(人口千対)は13.0で前年の12.9より上昇した。死因の第1位は悪性新生物(腫瘍)、第2位は心疾患、第3位は老衰である。

3